

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

H29.12実施

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・活動スペースを保障し、広く利用できるように、極力、家具などを置かない工夫をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	・基準通り配置され、児童指導員と保育士で業務を行える人事配置がされています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・スロープを購入するなど、できる限りの配慮をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	・職員が計画したプランは何度も練り直し、実施したプランの反省を職員間で行い、改善したものを次の日に行うようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	・昨年、公表はしていませんが、アンケートの実施を行いました。送迎等の要望に対し、必要に応じて人員を増やすなど改善をさせていただきました。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・H30.1に公開する予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	・行っておりません。今後の課題としていきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	・外部への研修の他、利用しているお子様の支援方法の検討を内部研修という形で適宜行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	・モニタリングや個別支援計画はとてども丁寧に行っています。お子様一人ひとりの課題を、職員で話し合い、保護者様との面談を実施させていただいています。作成時に、職員に対して支援方法の助言を行う場としています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・事業所独自のアセスメントシートを使用しています。 ・標準化されたアセスメントツールはどうしていくか、今後検討していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	・経験の少ない職員が多いため、発達段階に合ったプログラム立案の不十分さは、課題であると考えています。立案時に時間をかけ、何度か修正・改善を行い、サービスを提供できるように努力しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	・一週間単位で、プログラム内容を変えています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	・平日は音楽・図工・運動。土曜日は高校生が多い為作業。長期は買い物・調理等の社会性を課題として設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	・個人の課題と、集団の中で友達と適切に関わるスキルの向上など、必要に応じて分けて考えていますが、全ての利用者様の個別支援計画に記載はしていません。今後の課題とします。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・朝礼、昼礼を行い、全職員に「本日の活動」「利用児童様の課題」「職員の役割・仕事内容」が伝わるように配慮しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・支援当日に行うことは難しく、行えていません。しかし、記録の時に個別で話す、翌日や別日に機会を設けるなどして、適宜振り返りを行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・記録は、活動内容ではなく、お子様の活動の様子を記録するように職員に伝えています。不十分なところもあるので、今後、何を記録していくとよいか検討していきます。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	・半年に一回行っています。それまでのお子様の様子を話し合い、変更の必要性を職員間で検討するようにしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	・ガイドラインに記入されている内容を複数組み合わせ、行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・児童発達支援管理責任者が参加させてもらっています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	・送迎のある学校へは、通信を渡させていただき、事業所（お子様）の様子をお知らせしています。行事に招待したり、参観に行ったりと、交流を持たせてもらっています。 ・初回ご利用前には、学校へ出向き、挨拶、送迎場所等の確認をさせてもらっています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	・現在、ご利用はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・利用のご希望があった場合に、児童発達支援事業所へ連絡を入れ、当事業所の利用が適切なお子様かの情報交換を行っています。また、今後利用する上での必要な情報をいただいています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・同法人への移行だったため、丁寧な情報交換を行わせてもらいました。情報交換は、事業所間のみだったため、今後の課題としていきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・児童発達支援センターが行う研修に、積極的に参加するように努めています。事業所内で報告会を必ず行い、職員に伝えています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・障がいの有無を問わないイベントを企画・実施し、交流の場を設けました。参加者が少なく、今後の在り方を、検討していきたいです。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	・相談部会より招集があった時に参加しました。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・なるべく事業所にお迎えをお願いし、顔を見て話せる場を設けるようにしています。事業所でのお子様の様子や課題をお話しさせてもらうように努力しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	・現在は行っておりません。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・契約時に、お時間をいただき、一つ一つ説明をさせてもらっています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・送迎時やお電話で、悩みや相談を受け、一緒に考えるように努めています。また、通院時にお子様の様子などが必要な場合は、様子をまとめた文書を作成し、お渡しすることもさせていただきました。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・年に数回、活動の発表の場を設けています。保護者間の交流も目的としており、お話しされている様子が見られました。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・施設内道路に穴があり、改善するよう指摘がありましたが、現在砂利を入れるなど応急処置をしています。根本的な改善は行われていません。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・通信を月の初めに発行しています。 ・行事予定等載せていませんでしたので、今後改善していきます。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	・全職員が意識できるように伝えていきます。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・送迎時に、お話しができるようにしています。また、必要に応じて、連絡ノートを使用しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	・法人全体として行っており、当事業所も家庭にご案内し、希望者は参加してくださいました。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	・防犯以外はマニュアル化しています。 ・周知の仕方を検討します。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・年に2回、避難訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	・法人内に虐待防止委員会が設置されています。また、人権擁護委員会も設置され、どちらにも児童発達支援管理責任者がメンバーとして配置されています。また、事業所全職員にセルフチェックを行わせ、フィードバックをするなど、虐待防止についての研修の機会を確保しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	・対象者については、事前に保護者様、職員との話し合いの上、個別支援計画に記載し、行っています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・現在は、医師の診断書を提出された方はいません。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・出来事を書面にし、職員で話し合いの場を設けています。原因と改善策などを、報告者以外の職員の考えも聞くことで、再発防止に努めています。